

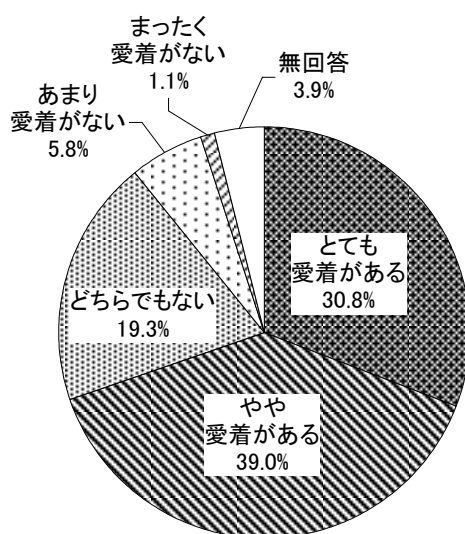
4 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問10 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

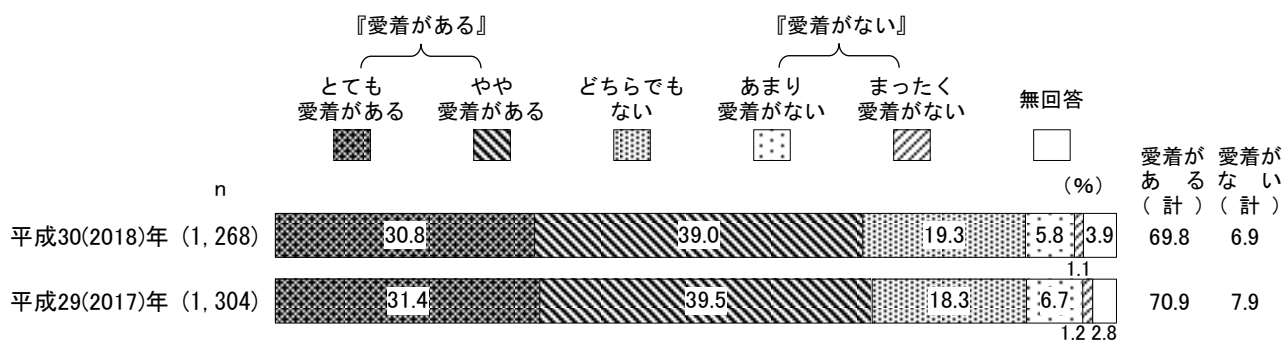
[n=1,268]

1	とても愛着がある	30.8%	4	あまり愛着がない	5.8%
2	やや愛着がある	39.0%	5	まったく愛着がない	1.1%
3	どちらでもない	19.3%		(無回答)	3.9%



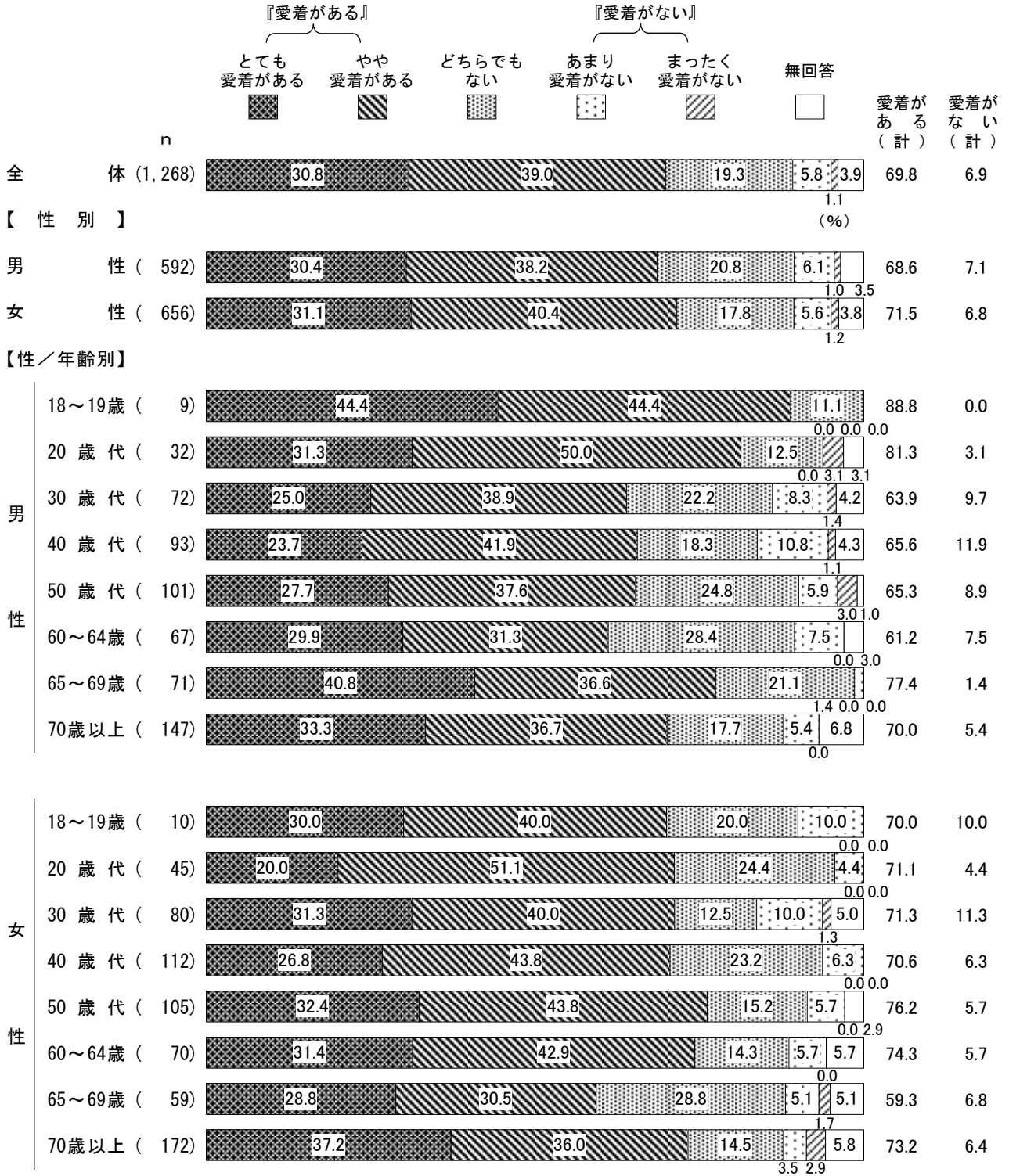
(n=1,268)

全体でみると、「とても愛着がある」(30.8%)と「やや愛着がある」(39.0%)の2つを合わせた『愛着がある』(69.8%)は7割となっている。一方、「あまり愛着がない」(5.8%)と「まったく愛着がない」(1.1%)の2つを合わせた『愛着がない』(6.9%)は1割近くとなっている。また、「どちらでもない」(19.3%)はほぼ2割となっている。



平成29(2017)年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

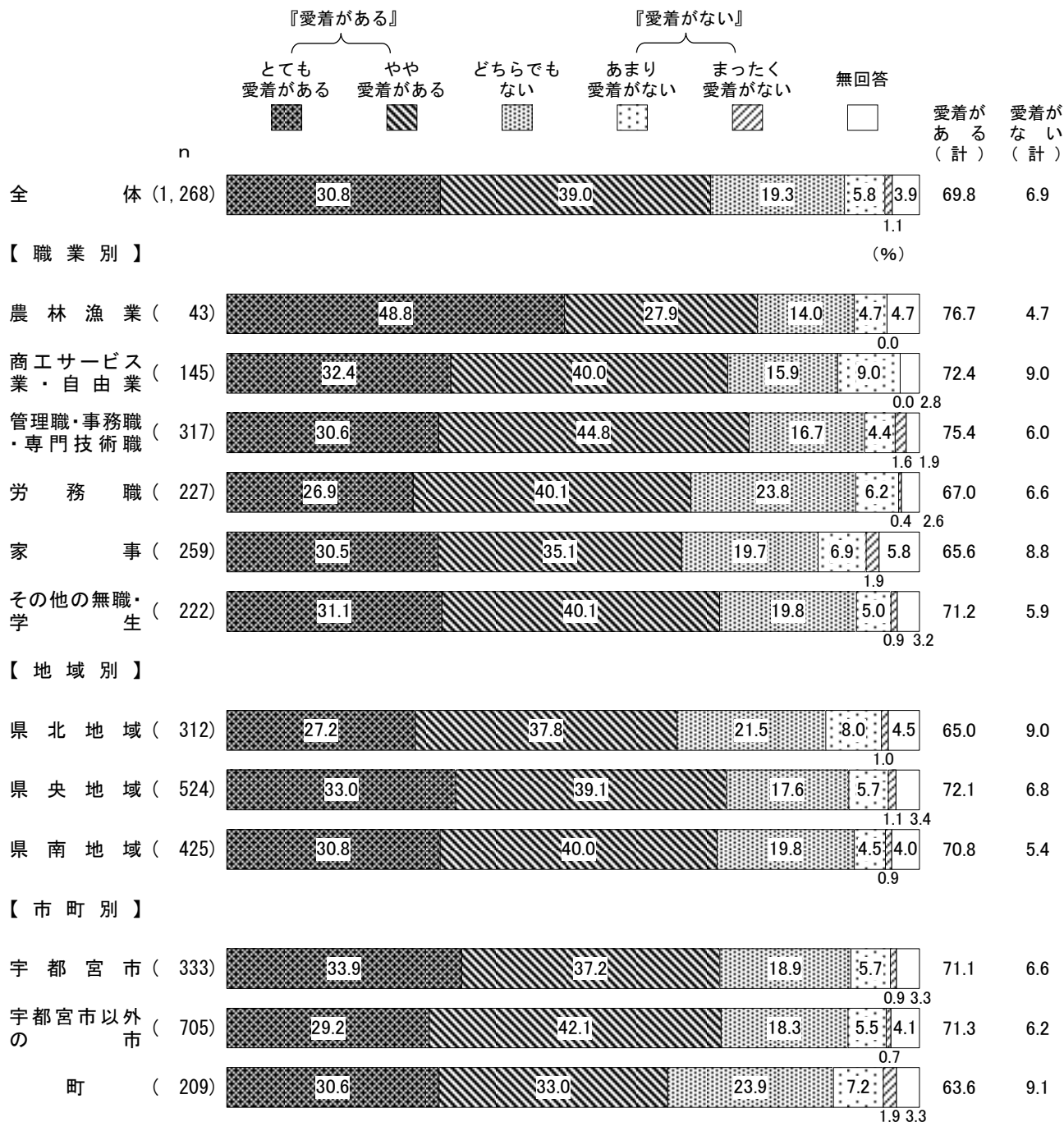
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『愛着がある』では〈女性〉(71.5%)が〈男性〉(68.6%)より2.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「とても愛着がある」では〈男性65～69歳〉が40.8%と高くなっている。『愛着がある』では〈男性20歳代〉が81.3%、〈男性65～69歳〉が77.4%、〈女性50歳代〉が76.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「とても愛着がある」では〈農林漁業〉が48.8%と高くなっている。『愛着がある』では〈農林漁業〉が76.7%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が75.4%と高くなっている。

地域別でみると、『愛着がある』では〈県央地域〉が72.1%、〈県南地域〉が70.8%となっており、〈県北地域〉(65.0%)に比べて高くなっている。

市町別でみると、『愛着がある』では〈宇都宮市以外の市〉が71.3%、〈宇都宮市〉が71.1%となっており、〈町〉(63.6%)に比べて高くなっている。

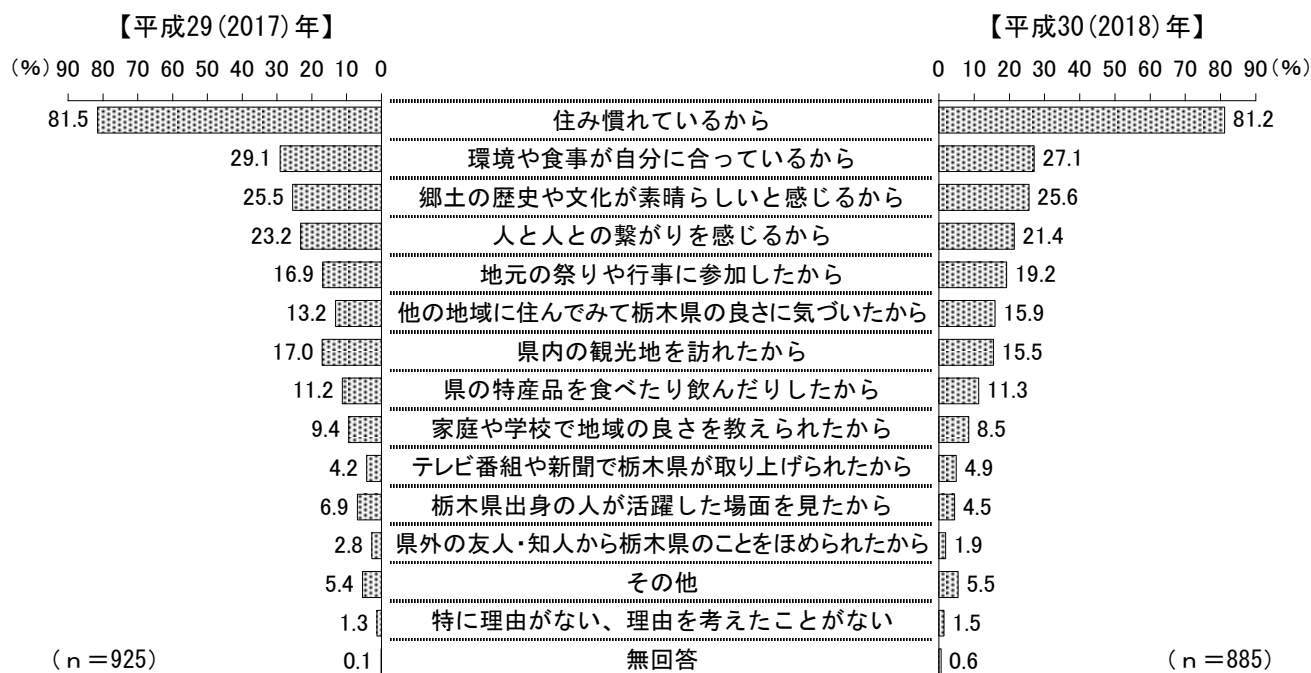
(1-1) 栃木県に愛着を感じる理由

(問10で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問10-1 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=885]

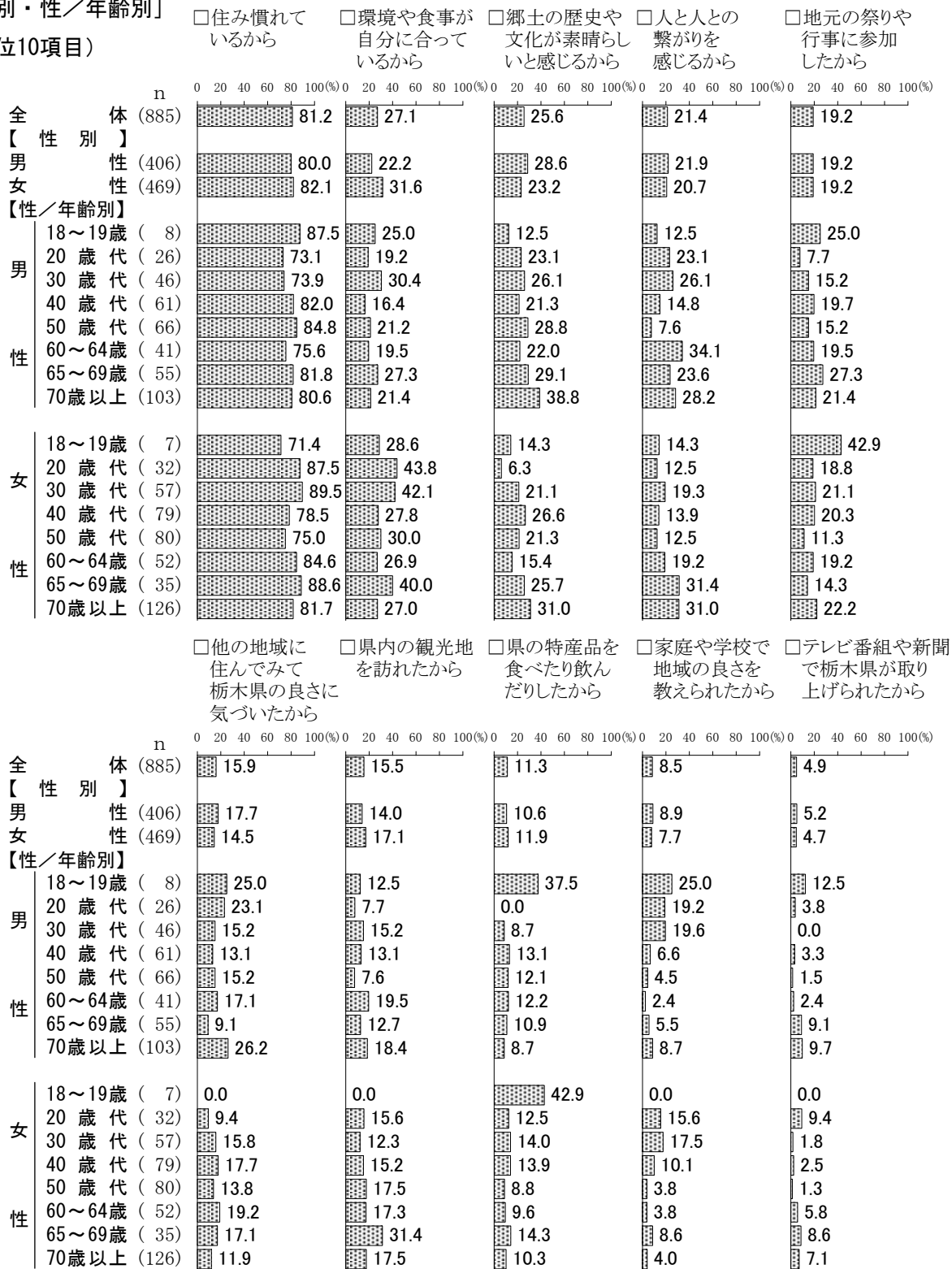
1	地元の祭りや行事に参加したから	19.2%
2	家庭や学校で地域の良さを教えられたから	8.5
3	郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	25.6
4	他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから	15.9
5	住み慣れているから	81.2
6	人と人との繋がりを感じるから	21.4
7	環境や食事が自分に合っているから	27.1
8	テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから	4.9
9	県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから	1.9
10	県内の観光地を訪れたから	15.5
11	県の特産品を食べたり飲んだりしたから	11.3
12	栃木県出身の人が活躍した場面を見たから	4.5
13	その他	5.5
14	特に理由がない、理由を考えたことがない (無回答)	1.5 0.6



全体で見ると、「住み慣れているから」(81.2%)が8割を超えて最も高く、次いで「環境や食事が自分に合っているから」(27.1%)、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」(25.6%)、「人と人との繋がりを感じるから」(21.4%)、「地元の祭りや行事に参加したから」(19.2%)の順となっている。

平成29(2017)年の調査結果と比較すると、「他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから」が2.7ポイント、「地元の祭りや行事に参加したから」が2.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「栃木県出身の人が活躍した場面を見たから」が2.4ポイント、「環境や食事が自分に合っているから」が2.0ポイント、それぞれ減少している。

【性別・性／年齢別】
 (上位10項目)

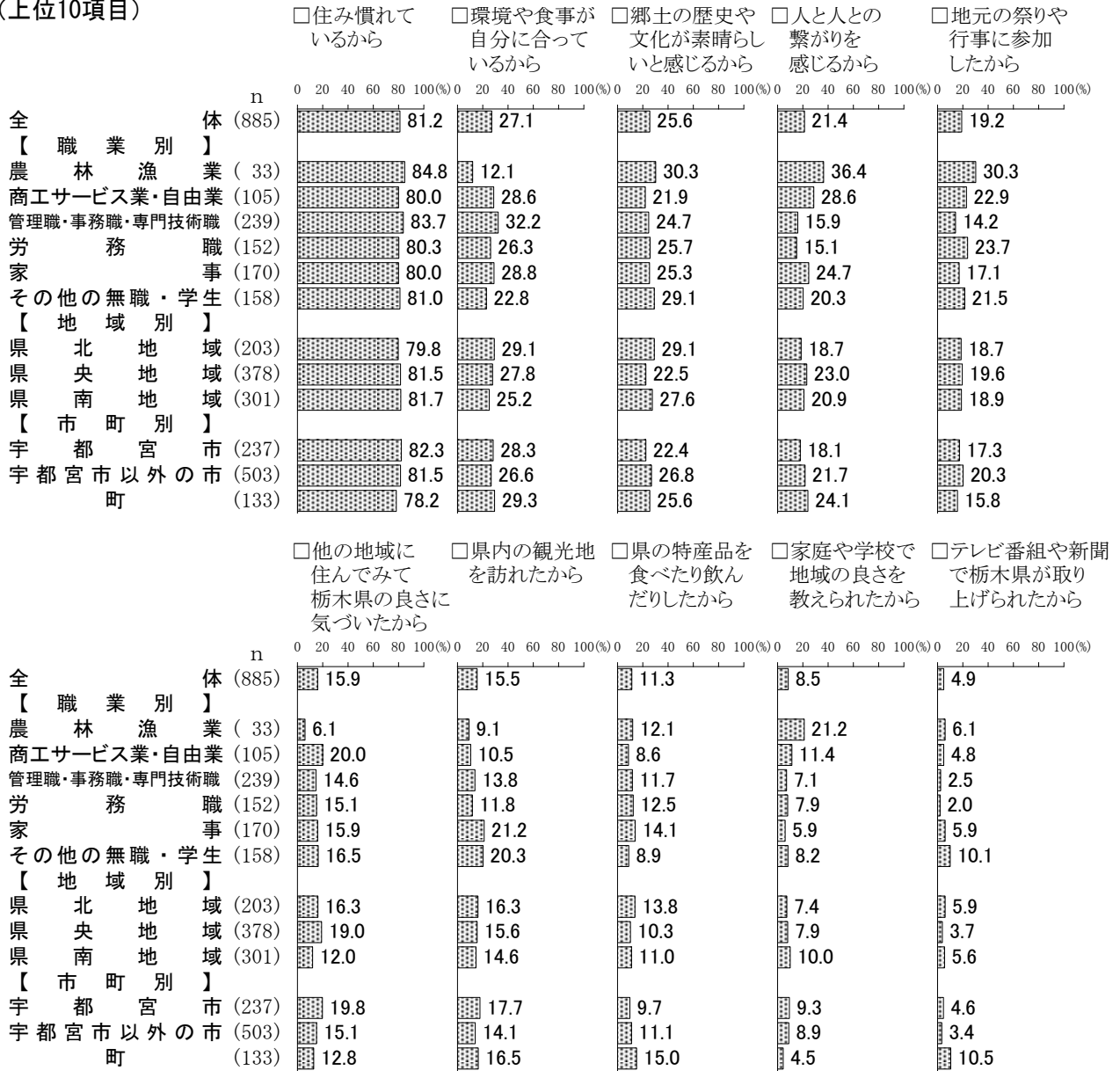


性別でみると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性〉(31.6%)が〈男性〉(22.2%)より9.4ポイント高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈男性〉(28.6%)が〈女性〉(23.2%)より5.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性20歳代〉が43.8%、〈女性30歳代〉が42.1%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈男性70歳以上〉が38.8%と高くなっている。「人と人との繋がりをを感じるから」では〈男性60～64歳〉が34.1%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性65～69歳〉が31.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「人と人との繋がりをを感じるから」では〈農林漁業〉が36.4%と高くなっている。「地元の祭りや行事に参加したから」では〈農林漁業〉が30.3%と高くなっている。「家庭や学校で地域の良さを教えられたから」では〈農林漁業〉が21.2%と高くなっている。

地域別でみると、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈県北地域〉が29.1%と高くなっている。

市町別でみると、「他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから」では〈宇都宮市〉が19.8%と高くなっている。

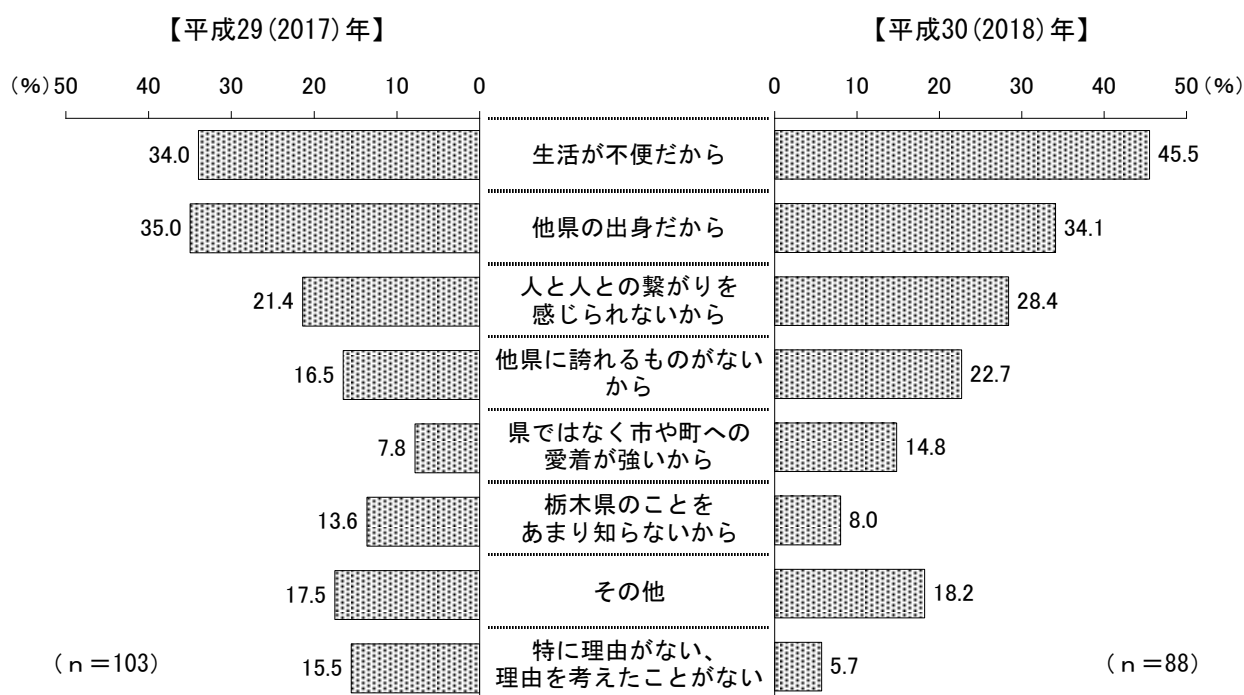
(1-2) 栃木県に愛着を感じない理由

(問10で選択肢「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」を選んだ方のみお答えください)

問10-2 あなたが愛着を感じない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=88]

1	他県に誇れるものがないから	22.7%
2	栃木県のことをあまり知らないから	8.0
3	県ではなく市や町への愛着が強いから	14.8
4	生活が不便だから	45.5
5	人と人との繋がりを感じられないから	28.4
6	他県の出身だから	34.1
7	その他	18.2
8	特に理由がない、理由を考えたことがない	5.7



全体で見ると、「生活が不便だから」(45.5%)が4割半ばで最も高く、次いで「他県の出身だから」(34.1%)、「人と人との繋がりを感じられないから」(28.4%)、「他県に誇れるものがないから」(22.7%)、「県ではなく市や町への愛着が強いから」(14.8%)の順となっている。

平成29(2017)年の調査結果と比較すると、「生活が不便だから」が11.5ポイント、「人と人との繋がりを感じられないから」と「県ではなく市や町への愛着が強いから」がともに7.0ポイント、「他県に誇れるものがないから」が6.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「栃木県のことをあまり知らないから」が5.6ポイント減少している。

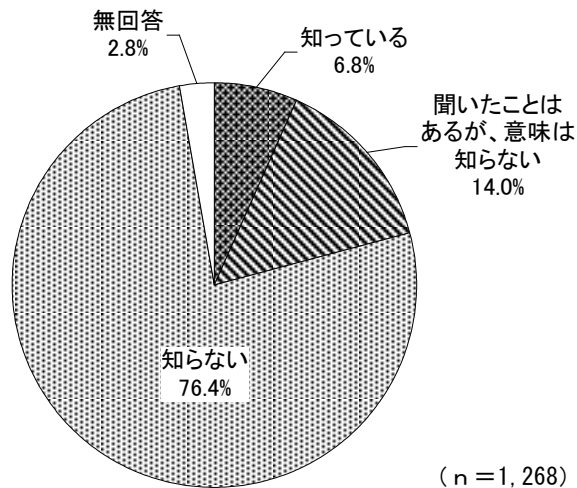
(2) 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」の認知度

問11 あなたは、「VERY GOOD LOCAL とちぎ(ベリー グッド ローカル とちぎ)」
(※) というキャッチフレーズを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

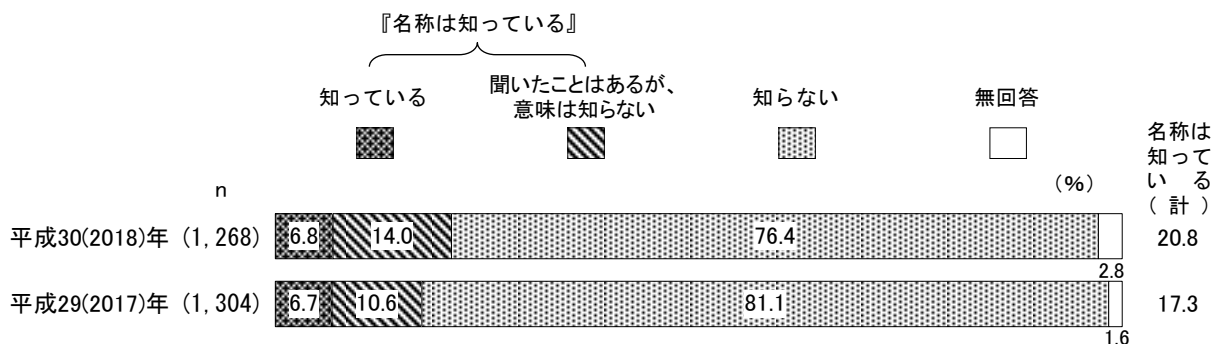
※ 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」とは、充実した都市機能とともに、豊かな自然、優れた歴史・文化、人と人とのつながりなど、「ローカル(地方)」の良さを兼ね備えた栃木県の魅力・実力を表現した、とちぎブランド推進のキャッチフレーズです。

[n=1,268]

1 知っている	6.8%
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	14.0
3 知らない	76.4
(無回答)	2.8

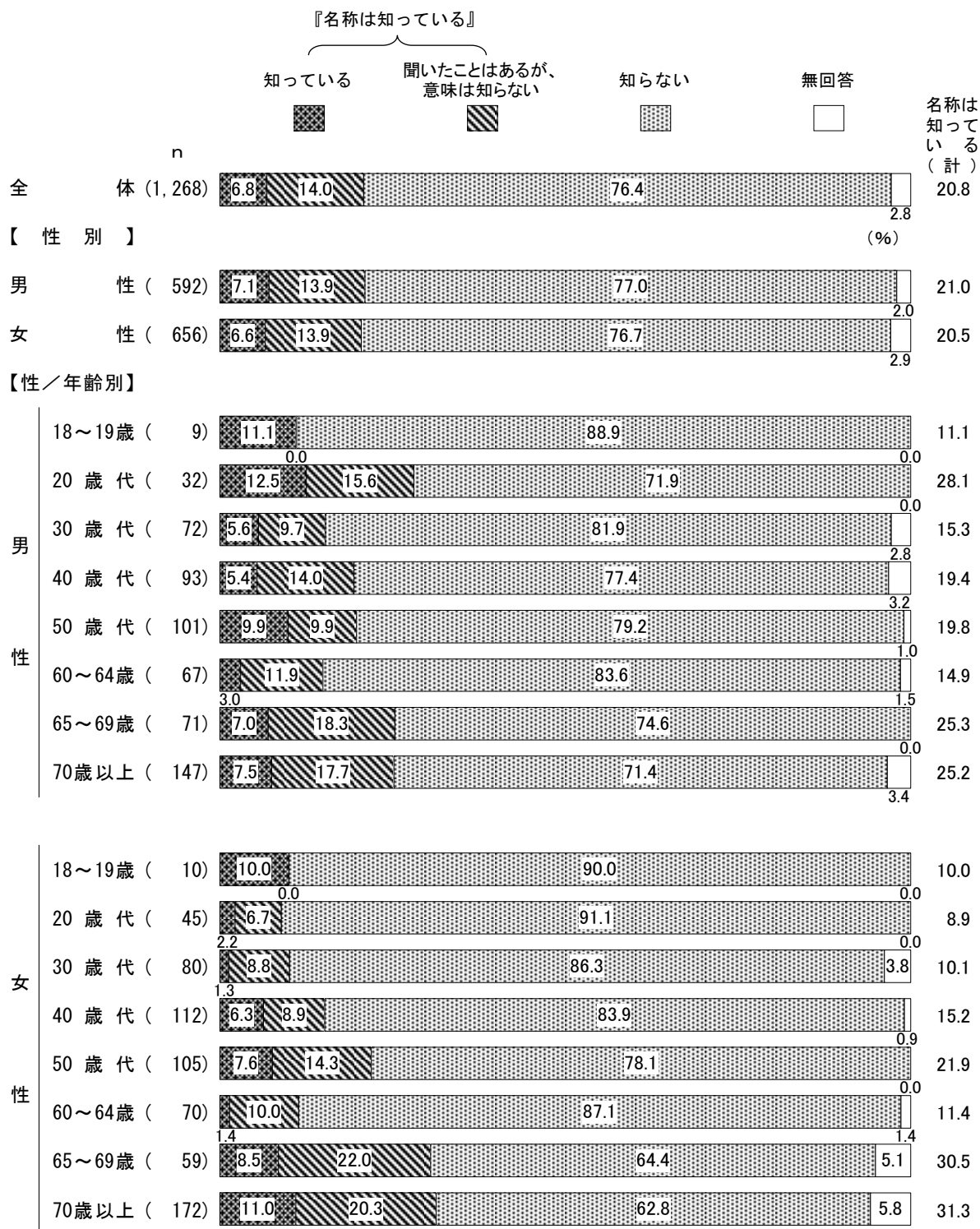


全体で見ると、「知っている」(6.8%)と「聞いたことはあるが、意味は知らない」(14.0%)の2つを合わせた『名称は知っている』(20.8%)はほぼ2割となっている。一方、「知らない」(76.4%)は7割半ばとなっている。



平成29(2017)年の調査結果と比較すると、『名称は知っている』が3.5ポイント増加している。

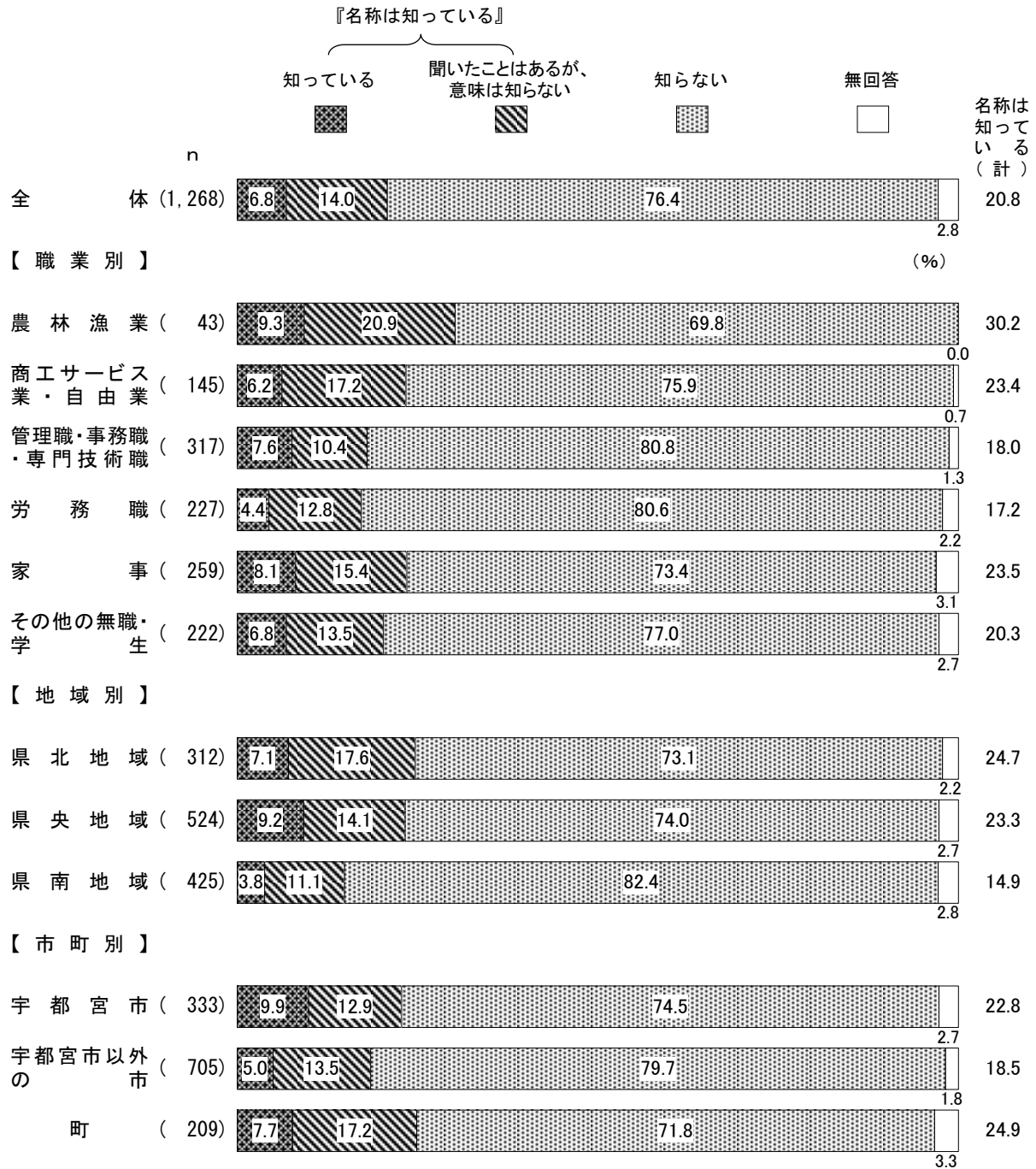
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈男性20歳代〉が12.5%、〈女性70歳以上〉が11.0%と高くなっている。『名称は知っている』では〈女性70歳以上〉が31.3%、〈女性65～69歳〉が30.5%と高くなっている。一方、「知らない」では〈女性20歳代〉が91.1%、〈女性60～64歳〉が87.1%、〈女性30歳代〉が86.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、『名称は知っている』では〈農林漁業〉が30.2%と高くなっている。一方、「知らない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が80.8%、〈労務職〉が80.6%と高くなっている。

地域別で見ると、『名称は知っている』では〈県北地域〉が24.7%、〈県央地域〉が23.3%となっており、〈県南地域〉(14.9%)に比べて高くなっている。

市町別で見ると、『名称は知っている』では〈町〉が24.9%と高くなっている。一方、「知らない」では〈宇都宮市以外の市〉が79.7%と高くなっている。